

# ぬかづけ 日記 連載⑭



白糠町のPRのことばかり考えるわたし  
白糠漬けの日常より。

地域おこし協力隊

キタダ ジュンコ  
北田 純子



## Profile

1973年11月23日生まれ。  
千葉県千葉市出身  
2019年4月から白糠町の観光をPRする地域おこし協力隊として着任。  
趣味は映画鑑賞、読書、アウトドア。

## ■北田純子ブログ

「シラスカAtoZ」  
<https://shiranuka.wixsite.com/atoz>



## 地域おこし協力隊 受け入れ農家 宮木農園での研修風景

8月の終わりは晴天が続く、特に山側は気温が30度を超えるなど、暑い日が続きました。そんな中、今年4月に着任した「地域おこし協力隊員（農業）」の西村さんの研修風景を取材しに、上庶路の宮木農園さんを訪れました。この日は、私もネギの定植とキャベツの収穫、出荷準備などをお手伝いしながらの取材です。畑での農作業は初めてとなる私に、いろいろ教えてくださったのは、笑顔がすてきな奥様。とっても可愛い方で、一気にファンになりました！ご主人は口数少ないものの、私が写真

を撮るときには「(奥様のことを)かわいく撮って」とおっしゃいます。ご夫婦の仲の良さや愛情の深さが伝わってきますね。訪問時はお嬢様もいらして、袋詰めや出荷準備の作業など、いろいろ丁寧に教えていただきました。ネギ定植中の西村さんは「大きくなれよー」「がんばれよー」と声をかけながら苗を植えています。これは、ポジティブな言葉をかけながら苗を植えると元気に育つという、宮木さんの教えなんだそうです。「野菜は生き物。愛情もつて育てるといいのよ」という奥様の言葉にも表れているように、宮木農園さんでは本当に愛情をもって、野菜を大切に育てているのが伝わってきます。

この日、ネギの定植に続いて行われたキャベツの収穫は、西村さんにとって特別なもの。5月から本格研修を始めた西村さんにとって、苗の定植↓日頃の世話↓収穫の一連を手がけたのは、こちらのキャベツが初めてなんだそうです。手塩にかけて育てたキャベツの初収穫ということで、とっってもうれしそうでした。西村さんに将来に向けてのビジョンや希望を聞くと「すべてが勉強の毎日です。いろいろまだまだこれからではありますが、現時点で育ててみたいのはトマト、アスパラ、ナス、きゅうり、ネギ、ごぼう、ハスカップなど。ゆくゆくは六次産業化にも力を入れていきたいです。ジャムやドレッシング



宮木農園の皆さんと西村さん(左から2番目)。笑顔がすてきです！

など、いろんな展開ができると思うんですが、白糠の作物を使った白糠らしい商品を開発していきたい」と語ってくださいました。

## おもしろかったあの3冊

- 「千の顔を持つ英雄」 J・キャンベル
  - 「生命の木」 諸星大二郎
  - 「夢中さ、きみに」 和山やま
- 私の中で和山やまブームが来ます！